

湘南の宝石・江の島シーキャンドルライトアップで広報



掃海艇乗組員によるヒーロー「エノシマン」が大活躍



掃海艇「えのしま」の一般公開の様子

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 嶋津准陸尉）は、12月20日（日）、湘南の宝石・江の島シーキャンドルライトアップにおいて広報活動を行った。

関東3大イルミネーションの一つである湘南の宝石・江の島シーキャンドルライトアップは、江の島のシンボルである展望灯台を中心に周辺一帯がきらびやかなライトで照らされ幻想的な空間が人気となっている。

江の島シーキャンドルライトアップには、第41掃海隊の掃海艇「えのしま」が湘南の宝石実行委員会からの依頼を受け艇内の一般公開・装備品の展示及び各種イベントを実施しており、今回で4年連続の協力となった。

掃海艇「えのしま」の一般公開には、275名の参加者があり、大変な賑わいとなった。藤沢募集案内所は、岸壁にブースを設置し神奈川県内のキャラクター「はまにゃん」による広報活動や制服、迷彩服の試着体験及びパネル展示を行った。

藤沢募集案内所は、「今後も、地域におけるイベントに積極的に参加し、「地域との交流と防衛基盤の拡充を図り募集成果の向上を目指したい」としている。



神奈川県キャラクター「はまにゃん」も大活躍



制服試着を着て記念撮影



ライトアップした掃海艇「えのしま」

海自入隊予定者等部隊研修に参加して 潜水艦・潜水艦救難母艦を見学

神奈川県立厚木北高等学校3年 赤間 勇軌

平成27年12月23日、私は神奈川県地方協力本部が支援した海自入隊予定者等部隊研修に参加し、潜水艦救難母艦「ちよだ」と第2潜水隊群の潜水艦の見学をしました。

始めに「ちよだ」へ乗艦しました。乗員の海上自衛官の方に、「ちよだ」は潜水艦が遭難、浮上不能となった際の潜水艦救難を任務とし、深海救難艇を搭載して、飽和潜水員が常に備えていると丁寧に教えていただきました。私は、海上自衛隊が潜水艦を運用して約60年間、今まで「ちよだ」が出動する潜水艦救難事故が一度も起きていないと聞き、各潜水艦乗員の努力と技術力の高さに、とても感銘を受けました。

次に潜水艦の見学が行われました。事前説明では、第2潜水隊群の海上自衛官の方に、潜水艦は所在を隠したまま行動する「隠密性」が最大の特徴であり、海上防衛の重要な役割を担っている事について、分かりやすく説明していただきました。見学後に私は、その「隠密性」が日本を守る為に、とても重要な事だと実感しました。

今回の潜水艦救難母艦「ちよだ」や潜水艦の見学という貴重な経験を通して、日本の平和と安全を守る為に日々過酷な潜水艦等で職責を全うしている海上自衛官の姿に感動し、私も一日でも早く立派な海上自衛官になれるよう日々努力していきたいと思えます。

今年最初の部隊見学支援「第1空挺団降下訓練始め」



降下訓練始め見学の様子

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、1月10日（日）、自衛隊協力者及び募集対象者等に対し、習志野演習場で実施された第1空挺団降下訓練始めの見学を支援した。

この見学は、厚木愛甲父兄会の井川氏が自衛隊協力者及び募集対象者等に自衛隊の活動を知ってもらう目的で毎年実施しているものであり、厚木募集案内所はその支援を行っている。

当日は雲一つない晴天に恵まれ、絶好の見学日和となった。募集対象者は「隊員の方に隣で丁寧に説明してもらいながら見学できて、感動しました」と話し、小学生の参加者は「たくさんの方が見学者がいましたが、良い位置で見学できて、ほとんどの訓練を見ることができて良かったです」と話していた。訓練見学後、浅草寺に立ち寄り安全祈願を行った。

厚木募集案内所は、「今後も、このような見学の機会を捉え、募集対象者等に自衛隊の魅力を知ってもらう」としている。